

(16) 去勢された神（『反キリスト者』の16）

自分自身を信じている民族は自分自身の「神」をもっている。その民族は自分の「快」や自分の「力の感情」を「投影する(projicirt)」。その場合、宗教は「感謝の一形式」である。人は自分自身に感謝し、そのために「神」を必要とする。そのような「神」は「有益」でもあり「有害」でもある。また、「友」であり「敵」でもある。この「神」は「善きこと」においても「悪しきこと」においても「讃嘆」される。そもそも「神」を「反自然的去勢」によって単なる「善の神」とすることは望ましいことではない。「善き神」と同様に「悪しき神」も必要である。「怒り」、「復讐」、「妬み」、「嘲笑」、「悪だくみ」、「暴行」を知らないような「神」は理解されないであろう。ⁱ

民族が「没落する」とき、また「未来への信仰」、「自由への希望」が決定的に失われるとき、そして「隷属」が「第一の有用性」として意識に上るとき、その民族の「神」は変わらざるをえない。「神」は「卑屈な者」になり、「臆病で控えめ」になる。「神」は絶えず「道徳化」し、「私的な徳の洞窟」へ這い込み、「万人にとっての神」となり、「私人」となり、「世界市民」となる。かつては「神」は「民族」を、また「民族の強さ」を、そして「民族の魂」からの「攻撃的なものや力を渴望するもの」を代表する者であった。今や、「神」は単に「善き神」に過ぎない。そもそも「神々」は「力への意志」であるか「力への無力」であった。前者の場合は「民族の神々」であり、後者の場合は必然的に「善」であるⁱⁱ

(17) デカダンスの産物としての神と悪魔（『反キリスト者』の17）

「力への意志」が下降するところには、「生理学的退行」や「頹廢」がある。「生理学的に退行した者」は「弱者」であるが、彼らは自らを「善人」と称する。彼らの「神」は、その「もっとも男性的な徳や衝動」を切り取られ、「弱者の神」となる。歴史上では「善き神と悪しき神との二元論的虚構(die dualistische Fiktion eines guten und eines bösen Gottes)」が可能となっている。例えば「征服された者」たちは彼らの「神」を「善自体」に貶め、「征服者の神」から「良き性質」を抹消し、その「神を悪魔化する(verteufeln)」。ⁱⁱⁱ そのことによって彼らは「征服者」に「復讐」するのである。この両者の「神」、すなわち「善なる神」も「悪魔」もともに「頹廢の産物」である。また、キリスト教神学者たちは、「イスラエルの神」、「民族の神」から「キリスト教の神」へと「すべての善なるものへの総括」への「神概念の展開」を「進歩」と言うが、彼らの「愚鈍」に従うことはとてもできないⁱⁱⁱ

この反対こそ明白である。「上昇する生の前提」である「強さ、勇敢さ、尊大さ、誇り」が「神概念」から消去され、また「神概念」が「疲労した者のための杖の象徴」あるいは「溺れる者のための頼みの綱の象徴」にまで落ちぶれ、「神」はとりわけ「貧しき人々の神」、「罪人の神」、「病める者の神」となり、「救世主」や「救済者」という「賓辞」が「神の賓辞」として残ったのである。^{iv}

このような「神的なものの引き下げ」によって、確かに「神の国」は大きくなった。以前は「神」はその「選ばれた民」のみをもっていた。そのうち「神」は彼の民と同じように異国に出かけ、放浪した。それ以来、どこにも留まることはなく、ついには到るところが故郷

となった。「神」は「偉大な世界市民」となった。かくて「多数者」と「半分の地上」が彼の側についたのである。しかし、「神」は「かくも青ざめ、かくも弱く、かくも頹廢」であった。そして、今や、「神」はいよいよ「影の薄いものにして青白いもの」となり、さらに「理想」、「純粹精神」、「絶対者」となり、ついには「物自体」となったのである。^v

(18) キリスト教の神概念 (『反キリスト者』の 18)

キリスト教の「神概念」は「病者の神」、「蜘蛛としての神」、「精神としての神」であり、地上で達せられた「もっとも腐敗した神概念」の一つである。「神」は「生の浄化」や「永遠の然り」である代わりに、「生の矛盾」へと変質した。この「神」において「生」や「自然」や「生への意志」に対する「敵意」が告知された。「神」は「此岸のあらゆる誹謗」や「彼岸に関するあらゆる虚言」に対する定式となった。その「神」において「無が神化され」、「無への意志」が「神聖」であると語られるのである。^{vi}

ⁱ Ibid., 16, S.182

ⁱⁱ Ibid., 16, S.182-183

ⁱⁱⁱ Ibid., 17, S.183

^{iv} Ibid., 17, S.184

^v Ibid.

^{vi} Ibid., 18, S.185